

医療提供体制の強化

- ①酸素ステーションの整備
- ②臨時の医療施設の確保
- ③中和抗体薬の促進
- ④看護師の確保



学校・子どもの感染防止対策

○大学や高校におけるオンライン授業の一層の活用

○抗原簡易キットの中学校・小学校・幼稚園等に対する配布

⇒ 最大80万回程度分を9月上旬から配布

⇒ 児童生徒が直ちに医療機関を受診できない場合や帰宅困難な場合に活用

(参考)大学、専門学校等については最大80万回程度分のキットを7月末から配布開始

○教職員のワクチン接種の優先接種の協力依頼

○小学校、中学校等の教職員へのモニタリング検査の実施

人流及び接触機会の低減の強化

○混雑した場所等への「**外出の機会の半減**」の呼びかけ

⇒ 買い物は2回を1回に!

○**テレワークの徹底**等による推進

⇒ テレワーク未実施企業もまずは半日からでも始め、週2日へ!

○百貨店、ショッピングモール、専門店などの大規模商業施設^(※)の管理者
に対し、都道府県知事による人数制限等の入場整理の要請等

(※) 百貨店の地下の食品売場等を含む

業種別ガイドラインの改訂・進化について

背景

- 感染力の強いデルタ株が拡がり、感染が拡大。
⇒百貨店、学習塾、駅、卸売市場といった、これまで確認されていなかった場面でのクラスターが発生。

業種別ガイドラインの改訂・進化

- 感染力の強いデルタ株を前提に、各業界においてこれまで策定されている196の業種別ガイドラインについて専門家の意見を踏まえた改訂・進化の要請等を依頼。

＜具体的に改訂が考えられる事項＞

基本的な感染防止策（マスク着用、換気の徹底、手指消毒等）の徹底・強化に加え、

- ・体調が悪い場合にはすぐ休んでいただくとともに、従業員が発熱など軽度の体調不良を訴えた場合には、抗原簡易キットを活用した検査等、職場における検査のさらなる活用・徹底

- ・車内、合宿場、寮等で特に密になりやすい空間での密集回避 等

- 変異株への対応を考えれば、従来よりも対策を徹底し、感染リスクを下げるのが重要。最新の知見も踏まえ、できるだけ早期に改訂を実施。